



1液ファインパーフェクトシーラー

透明
ホワイト

2液のファインパーフェクトシーラーの良さはそのままに使いやすさがUPしました。現場の利便性を追求した弱溶剤1液形のエポキシシーラーです。

■ 特長

① ダレにくい

従来品と比較して（当社比）、ダレにくいいため、マスキングテープ等で実施した養生箇所への入り込みを軽減します。

※下地、旧塗膜の状態によっては、作業性、仕上がりに影響が生じることがあります。

② 1液弱溶剤ならではの使いやすさ！

1液のため硬化剤を入れる手間や残ネタのロスが少なく、弱溶剤のため低臭気で、リフティングの心配がないため、下地を選ばずに塗装可能です。

③ 多用途

● 浸透+高付着

無機、有機ハイブリッド技術により開発された特殊エポキシ樹脂の効果により、従来のモルタル、コンクリート、木部、スレート屋根に加え、サイディングボードや鉄部等あらゆる素材に幅広く対応します。

※下記適用下地以外のものは対応できない場合があります。

● 高意匠サイディングボード対応

これまで無機や親水表面処理が施された高意匠サイディングボードでは、下地の活性状態によって、下塗りシーラーの付着性が十分に発揮されないケースがありました。1液ファインパーフェクトシーラーは窯業系サイディングボードの種類・表面の活性状態に付着性が左右されず、各種外壁材に対応可能です。

ローラー塗後のダレ性比較

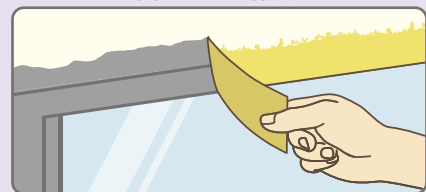


従来品シーラー（当社品） 1液ファインパーフェクトシーラー

ダレ性比較試験

マスキングテープを貼った試験板に各塗料を標準の使用量（150g/m²）で塗装を行い、その10秒後にマスキングテープをはがしてダレ性を比較した。

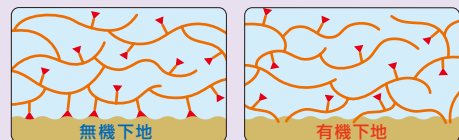
こんな困りごとを解決します！



（※上記はイメージです。）

無機・有機、両下地対応のメカニズム！

1液ファインパーフェクトシーラー
塗料成分拡大図



無機下地には無機成分が、有機下地には有機成分がそれぞれ付着することで、幅広い下地に対応できます。

（※上記はイメージです。）

■ 適用下地と使用量目安

使用量目安： 0.05~0.12kg/m²/回 0.15~0.3kg/m²/回

無機系素材									金属系素材					有機系素材				
押出成形セメント板	サイディングボード	磁器タイル	モルタル コンクリート	ブロック	PC板	けい酸カルシウム板	ALC	住宅用化粧スレート屋根	GRC	鉄部	電気亜鉛メッキ	カラートタン	アルミニウムA1050P	ステンレス(SUS304)	ガルバリウム鋼板	FRP樹脂	硬質塩ビ	木部
										※1	※1	※1	※1	※1	※1	※2	※2	※3

★各種旧塗膜にもご利用いただけます。

★上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、使用量・塗り回数を調整してください。

注) 大理石、金属光沢を有するラスタータイル、はっ水処理を施した素焼きタイル、グラファイトを施したいぶしタイルなどの特殊なタイルには付着しにくいので、試験塗装にて付着性を確認してください。れんがタイル・素焼き風タイルへの施工は避けてください。その他、特殊なタイル面への施工については、別途ご相談ください。

※1 金属系素材などを塗装する場合は、入念な面荒らしを行ってから施工してください。さびが発生している場合や腐食環境の厳しい環境では防錆性の高いさび止め塗料を使用してください。

※2 有機系素材などを塗装する場合は、入念な面荒らしを行ってから施工してください。

※3 木部はホワイトシーラーのみの適用となります。

■ 適用上塗り

水性上塗り・弱溶剤上塗り塗料全般（パーフェクトトップ、ファインパーフェクトトップ他）

注) 下記商品はひび割れなど、上塗り塗装後の不具合が懸念されますので、適用は避けてください。

Hiビニレックスエコシリーズ、エコフラットシリーズ、ケンエースシリーズ、アブラウドジェラスターII

